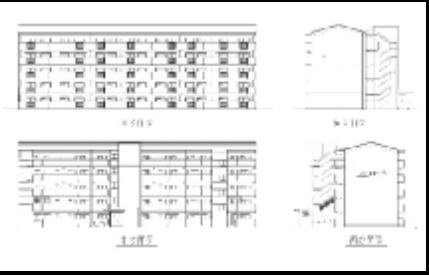


# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪府営羽曳野古市第1期中層住宅	階数	地上5F
建設地	大阪府羽曳野市古市1393-1 ほか1	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、防火指	平均居住人員	103 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年2月 予定	評価の実施日	2016年6月13日
敷地面積	7,089 m <sup>2</sup>	作成者	高橋上田設計事務所 坂上富雄
建築面積	536 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,226 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 58%  
③上記+②以外の 58%  
④上記+ 58%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3.1  
Q2 サービス性能: 2.7  
Q3 室外環境(敷地内): 2.7  
LR1 エネルギー: 4.0  
LR2 資源・マテリアル: 3.3  
LR3 敷地外環境: 3.4

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

#### Q1 室内環境 (Q1のスコア= 3.1)

#### Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 2.7)

#### Q3 室外環境(敷地内) (Q3のスコア= 2.7)

LR のスコア = 3.6

#### LR1 エネルギー (LR1のスコア= 4.0)

#### LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 3.3)

#### LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.4)

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 府営住宅として、安全性、経済性を重視した良質な住環境を創出し、人と街にやさしい"まちづくり"を行う。		注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
<b>Q1 室内環境</b> 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 各住戸には、南面するバルコニーを設け、採光・通風を確保	<b>Q2 サービス性能</b> 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 バリアフリー法の「移動円滑化基準」を満たし、車いす利	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 景観について単調なデザインを避けるため、中層住宅外観
<b>LR1 エネルギー</b> 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 各住戸は外皮に2方向(南面、北面)に面しており、自然通風、事前採光を確保する。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 床フローリング下地のパーティクルボードについて、リサイクル材を使用する。	<b>LR3 敷地外環境</b> 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 敷地内は、透水性インターロッキングを使用し、雨水貯留槽を設けることで、都市洪水抑制を計る。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0063

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

<b>【建物概要】</b>	建物名称	大阪府営羽曳野古市第1期中層住宅(建て替え)新築工事(1号棟)					
	建設地	大阪府羽曳野市古市1393-1ほか13筆					
	用途/区分	集合住宅					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					<b>B+</b>	
	CO2削減					<b>5</b>	
	省エネ対策					<b>3</b>	
	みどり・ヒート アイランド対策					<b>2</b>	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外	

【評価項目】			
省エネルギー対策		① CO2削減	
項目		評価内容	スコア
		② 省エネ対策	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.6
			5
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」のスコアによる評価	3.0
		建物全体	3.0
		住戸・宿泊	3.0
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.4	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない
			-
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策	
項目		評価内容	スコア
			評価
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0
			2
その他			
		技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入			
特に配慮した事項		特になし	